

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課		担当課長名	綿谷 憲司	
(※)第2期実施計画の事業名	ふれあい優待入浴事業		財務会計上の事業名	ふれあい優待入浴事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2021	1	財務会計上の短縮番号	2149	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目1高齢者福祉の充実			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	福祉施策の推進を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	65歳以上の市民
事業の手段・方法 (どのように)	毎月2回(15日と30日)公衆浴場を自己負担200円で利用。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 49 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市ふれあい優待入浴事業報奨金支給要綱

2 事業費等

区分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		2,760		2,880		2,880		2,880		100.0%
主な内訳	報償金	2,760		2,880		2,880		2,880		100.0%
										-
人件費(人・千円)		0.12	603	0.17	702	0.07	546	0.04	312	41.2%
内訳	正職員	0.07	518	0.07	532	0.07	546	0.04	312	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.05	85	0.10	170		0		0	0.0%
支出合計 A		3,363		3,582		3,426		3,192		95.6%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	3,363		3,582		3,426		3,192		95.6%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	事業報奨金にて公衆浴場協会を支援しているため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指標値	☆	活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	利用者人数	人	12,935	13,741	13,512	15,000	15,000
		活動 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/>							
		活動 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/>							
		活動 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/>							
		活動 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/>							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				目標人数には達しなかったが、高齢者福祉施策として有効であると思われるため。					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか			<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				目標人数に達しなかったため、広報・ホームページ等においてPR活動を行う。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 未実施 27 年度	
見直しの内容	平成26年度に単価の見直し@20,000円→22,500円に変更済 平成27年度には単価を@22,500円→24,000円に改正済み	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	平成27年度に単価を@22,500円→24,000円に改正しており、今後の推移を見守りながら事業見直しについて検討を行う。	
現在抱える課題と対策	課題	利用者人数の伸び悩み
	対策	広報・ホームページ等においてPR活動を行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	高齢者の交流の場として有効な施策と考えており、今後も継続してPR活動を行い利用者人数を増やす。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課		担当課長名	綿谷 憲司	
(※)第2期実施計画の事業名	高齢者日常生活用具等給付事業		財務会計上の事業名	高齢者日常生活用具等給付事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2021	2	財務会計上の短縮番号	2265	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目1高齢者福祉の充実			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	火災予防、事故の防止、日常生活の向上を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	低所得者で独居や高齢者のみの世帯
事業の手段・方法 (どのように)	福祉電話の貸し出し、給付。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 12 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	老人福祉法第3条

2 事業費等

区分	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	元年度 (予算)	H30/H29	
事業費(千円)	66	96	57	82	59.4%	
主な内訳	老人福祉電話扶助費	66	66	55	47	83.3%
	日常生活用具給付費(火災報知器)		30		30	0.0%
人件費(人・千円)	0.12 603	0.07 532	0.07 424	0.04 190	100.0%	
内訳	正職員	0.07 518	0.07 532	0.05 390	0.02 156	71.4%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0.05 85	0	0.02 34	0.02 34	-	
支出合計 A	669	628	481	272	76.6%	
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他()					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	669	628	481	272	76.6%	
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	老人福祉電話は、池田市名義で貸与しているほか、火災警報器の給付に関しても件数が少なくアウトソーシングにそぐわないため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指 標 値	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	福祉電話	台数	3	3	2	8	3	
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	火災警報器	台数	0	14	8	10	10	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				老人福祉電話は平成26年度以降新規受付は行っておらず、火災警報器設置については、希望する一人暮らし世帯、高齢者世帯へは対応しているため。					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか (改善の余地がない)			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				火災警報器設置希望者について地域包括支援センターや事業所から聞き取りを行い、消防による防火査察の際に消防隊員が設置するなど効率的に運用しているため。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	福祉電話については、現状を鑑み、平成26年度より新規受付は行わないこととした。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	現状のとおり運用する。	
現在抱える課題と対策	課 題	特になし
	対 策	特になし
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	特に課題や、新たなニーズはなく、現状で対応できていると考えられるため。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課		担当課長名	綿谷 憲司	
(※)第2期実施計画の事業名	高齢者緊急通報装置設置事業		財務会計上の事業名	高齢者緊急通報装置設置事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2021	3	財務会計上の短縮番号	2270	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目1高齢者福祉の充実			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 ()	<input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	救急、火災等緊急事態に対応する。		
事業の対象 (誰を、何を)	65歳以上の独居または高齢者のみの世帯		
事業の手段・方法 (どのように)	緊急時に消防本部へ繋がる緊急通報装置(ペンダント)を貸し出し。		
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 12 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)		
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度		
※根拠法とその条項	池田市高齢者生活用具貸付等事業実施要綱		

2 事業費等

区分	28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29	
事業費(千円)	3,286		3,301		3,220		3,524		97.5%	
主な内訳	緊急通報装置委託料		3,267		3,258		3,202		98.3%	
									-	
人件費(人・千円)	0.12	603	0.17	702	0.17	960	0.12	570	100.0%	
内訳	正職員	0.07	518	0.07	532	0.11	858	0.06	468	157.1%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
臨時的任用職員	0.05	85	0.10	170	0.06	102	0.06	102	60.0%	
支出合計 A	3,889		4,003		4,180		4,094		104.4%	
財源	国・府支出金								-	
	地方債								-	
	その他(みんなで作るまちの寄附金)	3,286							-	
	うち受益者負担 B								-	
一般財源 C	603		4,003		4,180		4,094		104.4%	
一般財源比率 C÷A	15.5%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%	
受益者負担率 B÷A									-	
受益者負担の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 1 実施済(平成 27 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input type="checkbox"/> 3 予定無し									
上記の内容	平成27年7月より一律500円									

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済	<input type="checkbox"/> 2 一部導入済	<input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()		
上記の内容	大阪ガスセキュリティサービスに委託		
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能		
可能な場合:導入可能な業務			
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()		
上記の内容			
不可能の場合:選択の理由			

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指標値	☆	活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	緊急通報装置利用者数	人	331	322	319	380	340
		活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				利用者数の伸び悩み					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか			<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				65歳以上の独居または高齢者のみの世帯の不安を軽減するために有効な事業であるが、利用者数が伸び悩んでいるため、介護事業所への事業周知やホームページや広報誌による継続的なPR活動を実施する。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度	<input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	非課税世帯への一部負担の導入(負担なしは生活保護のみ)	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	事業自体は平成27年度の見直しにより効率的な運用となったため現状維持でよいと考えるが、利用者数増加のために各地域包括支援センターでの周知や広報でのPRを強化する。	
現在抱える課題と対策	課題	現在、市の非常勤職員が緊急通報装置利用者の希望者に対し月1回程度の見守りを行っているが、そこで得た情報などを地域福祉へどのようにつないでいくかが課題。
	対策	個人情報の問題があるが、民生委員、地区福祉委員などと相談しながら連携を模索する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	消防本部への緊急通報や24時間体制で保健師が対応する相談機能を備え、現時点では最良のシステムであると認識しているが、近年は利用者数が緩やかに減少しているため、PR活動を継続して行く利用者数の増加につなげる。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課		担当課長名	綿谷 憲司	
(※)第2期実施計画の事業名	敬老のつどい開催事業		財務会計上の事業名	敬老のつどい開催事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2021	4	財務会計上の短縮番号	2295	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目1高齢者福祉の充実			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	高齢者に楽しいひとときを過ごしていただく。
事業の対象 (誰を、何を)	65歳以上の高齢者
事業の手段・方法 (どのように)	高齢者の福祉月間にあたり、敬老のつどいを開催する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 51 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	老人福祉法第5条

2 事業費等

区 分		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		949		1,007		965		1,280		95.8%
主な 内訳	敬老のつどい委託料	949		1,007		965		1,280		95.8%
										-
人件費(人・千円)		0.12	888	0.08	608	0.11	690	0.10	613	137.5%
内 訳	正職員	0.12	888	0.08	608	0.08	624	0.07	546	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0	0.01	32	0.01	33	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0	0.02	34	0.02	34	-
支出合計 A		1,837		1,615		1,655		1,893		102.5%
財 源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	1,837		1,615		1,655		1,893		102.5%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	いけだ市民文化振興財団に委託
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28 年度	29 年度	30 年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指 標 値	☆	活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	入場者数	人	800	800	800	800	
		活動 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/>							
		活動 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/>							
		活動 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/>							
		活動 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/>							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				高齢者に喜ばれている事業であり、目標値にも達しているため。					
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか			<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由 (目標値や事業費の推移についても言及して記入)			目標値に達しているが、今後も参加者等のニーズを聞いて内容や出し物を検討し、入場者数の増加を目指す。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	市制施行80周年記念事業のため、出し物の充実を図る。	
現在抱える課題と対策	課 題	毎年、ほぼ同じ内容で実施している。
	対 策	予算の範囲で出し物等を変えていく必要があると思われる。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	高齢者の福祉月間にあたり、高齢者に楽しいひとときを過ごしていただくことを目的に事業を展開しているが、入場者数増に向けて宣伝チラシの活用や出し物の変更等対応を検討していきたい。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課		担当課長名	綿谷 憲司	
(※)第2期実施計画の事業名	長寿祝金給付事業		財務会計上の事業名	長寿祝金給付事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2021	5	財務会計上の短縮番号	2300	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目1地域福祉活動の推進			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	節目の年を迎えた方の長寿を祝う。
事業の対象 (誰を、何を)	88歳、100歳、101歳以上の高齢者
事業の手段・方法 (どのように)	民生委員の家庭訪問による手渡しで行っている。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 9 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		10,940		12,820		10,920		13,560		85.2%
主な内訳	賞賜金	10,930		11,180		10,910		13,550		97.6%
										-
人件費(人・千円)		0.14	637	0.17	702	0.19	872	0.19	872	111.8%
内訳	正職員	0.07	518	0.07	532	0.09	702	0.09	702	128.6%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.07	119	0.10	170	0.10	170	0.10	170	100.0%
支出合計 A		11,577		13,522		11,792		14,432		87.2%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	11,577		13,522		11,792		14,432		87.2%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	地域の民生委員が対象者宅を訪問し配布している。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	祝金給付者	人	533	547	535	640	640
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				対象者に対して確実に支給する事業であるため。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	節目を迎えた方の長寿を祝う有意義な事業であるため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 25・26 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	平成25年4月より長寿祝金100歳の10万円を5万円に改正。長寿祝金と併せて行っていた長寿祝品を平成26年度より廃止。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	平成25年4月より長寿祝金100歳の10万円を5万円に改正済み。平成26年度より長寿祝品の廃止済みのため。	
現在抱える課題と対策	課 題	対象者の増加が見込まれる。
	対 策	現在民生委員に戸別訪問してもらい配分してもらっているが、民生委員の意見を聞きながら検討していく必要がある。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	高齢化社会を迎え、給付事業については総合的な意見からの事業再構築を検討する必要があると思われる。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課		担当課長名	綿谷 憲司	
(※)第2期実施計画の事業名	金婚祝賀会開催事業		財務会計上の事業名	金婚祝賀会開催事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2021	6	財務会計上の短縮番号	2305	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目1高齢者福祉の充実			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 ()	<input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	高齢福祉の増進を図る。		
事業の対象 (誰を、何を)	結婚50周年及び75周年を迎えた夫婦		
事業の手段・方法 (どのように)	祝賀会を開催し祝う。		
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 54 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)		
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度		
※根拠法とその条項	池田市金婚等祝賀会実施要綱		

2 事業費等

区分	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	元年度 (予算)	H30/H29					
事業費(千円)	794	798	795	800	99.6%					
主な内訳	金婚祝賀業務委託料	679	679	679	100.0%					
					-					
人件費(人・千円)	0.08	535	0.18	778	0.18	1,114	0.12	647	100.0%	
内訳	正職員	0.07	518	0.08	608	0.13	1,014	0.07	546	162.5%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0	0.01	32	0.01	33	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
臨時的任用職員	0.01	17	0.10	170	0.04	68	0.04	68	40.0%	
支出合計 A	1,329	1,576	1,909	1,447	121.1%					
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
一般財源 C	1,329	1,576	1,909	1,447	121.1%					
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%					
受益者負担率 B÷A					-					
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し									
上記の内容	結婚50周年及び75周年を迎えた夫婦を招き、祝賀会を開催し祝う事業であるため、見合わない									

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済	<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済	<input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減	<input checked="" type="checkbox"/> サービス向上	<input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	いけだ市民文化振興財団に一部委託		
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能	<input checked="" type="checkbox"/> 不可能	
可能の場合:導入可能な業務			
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減	<input type="checkbox"/> サービス向上	<input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容			
不可能の場合:選択の理由			

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	参加人数	人	118
指標値		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果						
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果						
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果						
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果						
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				例年一定数以上の参加があるため。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)			いけだ市民文化振興財団に事業の大半を委託している。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度	<input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	従来の金婚(結婚50年)及びプラチナ婚(75年)は実施するが、ダイヤモンド婚(60年)祝賀会については、27年度限りで廃止した。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	特に現状に問題がないため。	
現在抱える課題と対策	課題	特に無し
	対策	特に無し
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	出席者から好評であり、今後も継続予定。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	市民生活部にぎわい戦略室地域活性課	担当課長名	楠田 慎太郎
(※)第2期実施計画の事業名	社会参加促進事業 (シルバー人材センター補助事業)	財務会計上の事業名	シルバー人材センター補助事業
(※)第2期実施計画の 分類番号/事業番号	2021 7	財務会計上の短縮番号	2325
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実	
	項目	項目1高齢者福祉の充実	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	高齢者の活力活用と福祉の増進を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	おおむね60歳以上の市民を会員とする(公益社団)シルバー人材センター
事業の手段・方法 (どのように)	高齢者に就職機会を提供(斡旋)するシルバー人材センターの運営を助成し、高齢者に就業の機会を提供する
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 2 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	高齢者等の雇用の安定等に関する法律

2 事業費等

区 分		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		25,190		27,000		29,500		29,500		109.3%
主な 内訳	補助金	25,190		27,000		29,500		29,500		109.3%
										-
人件費(人・千円)		0.09	381	0.09	389	0.06	468	0.06	468	66.7%
内 訳	正職員	0.04	296	0.04	304	0.06	468	0.06	468	150.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.05	85	0.05	85		0		0	0.0%
支出合計 A		25,571		27,389		29,968		29,968		109.4%
財 源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	25,571		27,389		29,968		29,968		109.4%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	市から補助金を交付する事業であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施 計画 目標	区 分	内 容	単 位	28 年度	29 年度	30 年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	会員数	人	681	682	696	710	730
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	契約件数	件	2,586	2,517	2,668	2,595	2,630
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				会員数は目標には達していないものの、契約件数は目標を大きく上回って達成しており、高齢者に就職機会を十分に提供できている。				
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な 内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である (改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない (抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に 実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である (改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない (抜本的な見直しが必要)				
選択の理由 (指標値や事業費の推移に についても言及して記入)				高齢者に就職機会を提供(斡旋)するシルバー人材センターの運営を助成することで、高齢者に就業の機会を提供できている。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における 事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組 (平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	高齢者に就職機会を提供(斡旋)するシルバー人材センターの運営を助成し、高齢者に就業の機会を提供する。	
現在抱える課題 と その対策	課 題	高齢者の会員数は682人から696人に増加しているが、就業日数等が伸び悩んでいる。
	対 策	PR活動の充実を図る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	高齢者の就労意欲の高さより、持続可能な制度とするためにも、今後も国の動向を注視する必要がある。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課		担当課長名	綿谷 憲司	
(※)第2期実施計画の事業名	社会参加促進事業 (老人クラブ補助事業)		財務会計上の事業名	老人クラブ補助事業	
(※)第2期実施計画の 分類番号/事業番号	2021	7	財務会計上の短縮番号	2310	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目1高齢者福祉の充実			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	高齢者の生きがい・活動の助長、社会参加の促進、健全な団体の育成による活力ある地域づくりの促進を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	60歳以上で構成する30人以上のクラブ
事業の手段・方法 (どのように)	活動に伴う経費の一部を助成
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 3 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	老人福祉法第4条、第5条

2 事業費等

区分	28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29	
事業費(千円)	7,980		7,957		7,802		8,084		98.1%	
主な内訳	老人クラブ簿所事業		7,980		7,957		8,084		98.1%	
									-	
人件費(人・千円)	0.17	688	0.17	702	0.16	821	0.14	665	94.1%	
内訳	正職員	0.07	518	0.07	532	0.09	702	0.07	546	128.6%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
臨時的任用職員	0.10	170	0.10	170	0.07	119	0.07	119	70.0%	
支出合計 A	8,668		8,659		8,623		8,749		99.6%	
財源	国・府支出金	2,119		2,190		2,148		2,341		98.1%
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
一般財源 C	6,549		6,469		6,475		6,408		100.1%	
一般財源比率 C÷A	75.6%		74.7%		75.1%		73.2%		100.5%	
受益者負担率 B÷A									-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し									
上記の内容	事業の目的にそぐわないため。									

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	補助事業という性質上、アウトソーシングになじまない。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画 目標	区分	内容	単位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指標値	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	老人クラブ加入者数	人	2345	2270	2138	2500	2300
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				会員の増加を図っているが目標数に達しなかったため。					
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な 内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である (改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない (抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に 実施できているか			<input type="checkbox"/> A 効率的である (改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない (抜本的な見直しが必要)					
選択の理由 (指標値や事業費の推移に についても言及して記入)				高齢者の生きがい・活動の助長、社会参加の促進、健全な団体の育成による活力ある地域づくりの促進を図っているが、年々会員数が減少しており、老人クラブの活性化が課題である。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における 事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組 (平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	アクティブシニア応援事業補助金を活用した新たな事業の検討。	
現在抱える課題 と その対策	課題	会員数が年々減少してきている。
	対策	友愛連主催のスポーツ大会や作品展に、会員以外の高齢者の参加を認め、入会を勧めている。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	自宅にひきこもりがち高齢者の社会参加につなげるため、今後とも事業継続が必要である。会員数増加・活動の活性化に向け、引き続き高齢者に入会を勧めるとともに、アクティブシニア応援事業補助金を活用した新たな事業の検討など先進的な活動を行っていく。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	市民生活部にぎわい戦略室地域活性課		担当課長名	楠田 慎太郎	
(※)第2期実施計画の事業名	社会参加促進事業		財務会計上の事業名	シルバー人材センター建設事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2021	7	財務会計上の短縮番号	3864	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目1高齢者福祉の充実			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 ()	<input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	高齢者の安全な活動拠点、就労場所を確保し、就労を通じて高齢者の福祉の増進を図る。		
事業の対象 (誰を、何を)	おおむね60歳以上の市民を会員とする(公益社団)シルバー人材センター		
事業の手段・方法 (どのように)	高齢者に就職機会を提供(斡旋)するシルバー人材センターの活動拠点を新築し、高齢者に就業の機会を提供する。		
実施期間	<input type="checkbox"/> 継続(平成 31 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 時限(平成 30 年度～平成 30 年度)		
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度		
※根拠法とその条項	なし		

2 事業費等

区分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)						53,592				-
主な内訳	繰出金					195				-
	工事請負費					53,592				-
人件費(人・千円)		0.00	0	0.00	0	0.05	390	0.00	0	-
内訳	正職員		0		0	0.05	390		0	-
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		0		0		53,982		0		-
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他(基金繰出)					53,592				-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	0	0			195		0		-
一般財源比率 C÷A						0.4%				-
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容		工事なので、受益者負担という考え方はない。								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済	<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済	<input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減	<input type="checkbox"/> サービス向上	<input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	工事設計及び工事監理業務		
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能	<input checked="" type="checkbox"/> 不可能	
可能な場合:導入可能な業務			
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減	<input type="checkbox"/> サービス向上	<input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容			
不可能の場合:選択の理由	工事については、アウトソーシングという考え方はないため。		

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	会員数	人			696	710	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	契約件数	人			2,668	2,595	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				会員数は目標には達していないものの、契約件数は目標を大きく上回って達成しており、高齢者に就職機会を十分に提供できている。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				高齢者に就職機会を提供(斡旋)するシルバー人材センターの拠点を整備し、高齢者に就業の機会を提供できている。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施	平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容			
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充	<input type="checkbox"/> 2 現状維持	<input type="checkbox"/> 3 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	建設が完了したため。		
現在抱える課題と対策	課 題	高齢者の会員数は681人から682人に増加しているが、就業日数等が伸び悩んでいる。	
	対 策	PR活動の充実を図る。	
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針			
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充	<input type="checkbox"/> 2 現状維持	<input type="checkbox"/> 3 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	平成30年度にて改修工事が終了。令和元年度から運用開始し、散在する拠点が一箇所に集中したメリットを活かし、更なる活動を期待する。		

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課		担当課長名	綿谷 憲司	
(※)第2期実施計画の事業名	社会参加促進事業		財務会計上の事業名	アクティブシニア応援事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2021	7	財務会計上の短縮番号	2391	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目1生きがい対策と社会参加の促進			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	健康づくり、生きがいづくり等の事業が行われ、高齢者が地域で元気に生活できる環境づくり。
事業の対象 (誰を、何を)	高齢者の福祉を増進する目的で行われる事業、高齢者が主体となって行うボランティア活動等。
事業の手段・方法 (どのように)	活動に伴う経費の全額もしくは一部を助成。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 30 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	元年度 (予算)	H30/H29	
事業費(千円)			6,734	10,000	-	
主な内訳	補助金		6,734	10,000	-	
					-	
人件費(人・千円)	0.00	0.00	0.21	1,638	-	
内訳	正職員	0	0	0.21	1,638	-
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0	0	0	0	-	
支出合計 A	0	0	8,372	12,028	-	
財源	国・府支出金		2,000	2,000	-	
	地方債				-	
	その他(アクティブシニア応援基金)			4,734	8,000	-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	0	0	1,638	2,028	-	
一般財源比率 C÷A			19.6%	16.9%	-	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	補助事業という性質上、アウトソーシングになじまないため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	補助事業数	件			19	-	20
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況			<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由			補助金交付に至った新規事業が13件あり、一定の効果があったものと考えられるため。					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	目的達成のために有効な手段であり、大幅な改善は必要ないと考えているため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	平成30年度からの新規事業であり、動向を見守るため。	
現在抱える課題と対策	課 題	事務の効率化
	対 策	申請期限の設定、審査会開催時期の固定化等
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	平成30年度からの新規事業であり、動向を見守るため。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課		担当課長名	綿谷 憲司	
(※)第2期実施計画の事業名	在日外国人高齢者福祉金給付事業		財務会計上の事業名	在日外国人高齢者福祉金給付事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2021	8	財務会計上の短縮番号	2330	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目1高齢者福祉の充実			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	在日外国人高齢者の福祉の増進を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	大正15年4月1日以前生まれで公的年金のない在日外国人
事業の手段・方法 (どのように)	福祉金を給付
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 7 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	老人福祉法第2条

2 事業費等

区分	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	元年度 (予算)	H30/H29	
事業費(千円)	140	30	0	130	0.0%	
主な内訳	在日外国人高齢者福祉金	140	30	0	130	0.0%
						-
人件費(人・千円)	0.09 609	0.08 608	0.08 624	0.03 234	100.0%	
内訳	正職員	0.08 592	0.08 608	0.08 624	0.03 234	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0.01 17	0	0	0	-	
支出合計 A	749	638	624	364	97.8%	
財源	国・府支出金				-	
	地方債				-	
	その他()				-	
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	749	638	624	364	97.8%	
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	給付事業という性質上、アウトソーシングに見合わないため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	交付者数	人	2	1	0	0	0
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				申請主義のため、交付者数については、適正な人数かを判断できないため。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない)	<input type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)			
	事業は効率的に実施できているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない)	<input type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)			
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		現在対象者がいないため。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	対象者が現れた場合に備えて制度及び予算は維持しておく必要があるため。	
現在抱える課題と対策	課題	特になし
	対策	特になし
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	大正15年4月1日以前生まれで公的年金のない在日外国人への補助は必要なものであり、国の制度を市単独で廃止することはできないため。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課		担当課長名	綿谷 憲司	
(※)第2期実施計画の事業名	福祉有償運送運営協議会事業		財務会計上の事業名	福祉有償運送運営協議会事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2021	9	財務会計上の短縮番号	2381	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目1高齢者福祉の充実			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	広域実施により合理的な運営を目指す。
事業の対象 (誰を、何を)	NPO等運送事業者と利害関係者との協議審議について
事業の手段・方法 (どのように)	福祉有償運送運営協議会(市長主宰)を、北摂6市3町で共同で設置する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 17 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	道路運送法第79条の2

2 事業費等

区 分		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		11		10		10		13		100.0%
主な内訳	負担金	11		10		10		13		100.0%
										-
人件費(人・千円)		0.12	383	0.07	312	0.04	266	0.04	267	57.1%
内訳	正職員	0.02	148	0.02	152	0.03	234	0.03	234	150.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0.05	150	0.05	160	0.01	32	0.01	33	20.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.05	85		0		0		0	-
支出合計 A		394		322		276		280		85.7%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	394		322		276		280		85.7%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	条例において審議会の設置が義務付けられており、市の福祉施策の重要事項について、調査、審査、諮問する機関であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28 年度	29 年度	30 年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	開催日数	日	4	4	4	4	4	
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	審議件数	件	25	14	9	25	20	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				広域実施により合理的な運営を実現できているため。					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)			池田市単独で協議会を開催するより、北摂6市3町で実施するほうが、効率的な運営ができる。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	他市町村と協力し、引き続き適切な審議を行うよう努める。	
現在抱える課題と対策	課 題	特になし
	対 策	特になし
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	費用対効果から市単独実施より有益であり、今後も現在の事業内容を継続する方針である。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課		担当課長名	綿谷 憲司	
(※)第2期実施計画の事業名	福祉バス運行事業		財務会計上の事業名	福祉バス運行事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2021	10	財務会計上の短縮番号	2350	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目1地域福祉活動の推進			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	高齢者等の外出を支援し、引きこもりを防止。
事業の対象 (誰を、何を)	高齢者(60歳以上)、障がい者、妊産婦
事業の手段・方法 (どのように)	マイクロバスで市内の施設を循環運行。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 9 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		28,743		24,408		32,958		30,614		116.0%
主な内訳	運行委託料	23,974		24,503		24,679		24,680		100.7%
	設置委託料	1,491								-
	自動車借上料	2,379		2,105		3,558		4,637		169.0%
人件費(人・千円)		0.27	1,713	0.12	912	0.10	780	0.16	1,065	83.3%
内訳	正職員	0.22	1,628	0.12	912	0.10	780	0.13	1,014	83.3%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.05	85		0		0	0.03	51	-
支出合計 A		30,456		29,320		33,738		31,679		115.1%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他(福祉基金利子等)	339	375	219	111	58.4%				
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	30,117	28,945	33,519	31,568	115.8%				
一般財源比率 C÷A		98.9%	98.7%	99.4%	99.6%	100.6%				
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	阪急コミュニティーバスマネジメント㈱に委託済
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	利用者数	人	84011	84693	80908	85000	85000
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				目標数に達しなかったため。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか		<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		市民サービスにつながる事業であるが、目標値に順調に推移していないため。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成26・29年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	平成26年度より競争入札を実施し、2年9か月の長期契約を行った。平成29年度に競争入札を実施し、3年間の長期契約中(令和2年6月30日まで)	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	長期契約のとおり委託契約の継続	
現在抱える課題とその対策	課 題	コミュニティバス、デマンドバス導入検討にあたっての調整・連携
	対 策	コミュニティバスなどは利用対象者が高齢者等だけでなく一般市民に拡大されると考えられるため、福祉バスの今後については、担当課と調整しながら検討していく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	平成30年度市長・副市長ヒアリングにおいて、令和2年度末までにコミュニティバス等への転換、福祉バスの廃止を含めた方向性を示すよう決定された。公共交通会議におけるコミュニティバス等の導入検討状況を注視しつつ、利用しやすい福祉バスの運行に努める。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課		担当課長名	綿谷 憲司	
(※)第2期実施計画の事業名	要援護高齢者支援事業		財務会計上の事業名	要援護高齢者支援事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2021	11	財務会計上の短縮番号	2383	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目1高齢者福祉の充実			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 ()	<input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	要援護高齢者の避難先の確保を目的とする。		
事業の対象 (誰を、何を)	虐待を受けている要援護高齢者		
事業の手段・方法 (どのように)	生活管理指導や措置入所などの支援を行う。		
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)		
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度		
※根拠法とその条項	池田市生活管理指導委員派遣事業実施要綱、池田市短期入所生活介護事業実施要綱		

2 事業費等

区分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		21		70		155		368		221.4%
主な内訳	要援護高齢者支援委託料	21		70		155		368		221.4%
										-
人件費(人・千円)		0.08	307	0.08	388	0.06	284	0.07	366	75.0%
内訳	正職員	0.03	222	0.03	228	0.02	156	0.03	234	66.7%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0	0.05	160	0.04	128	0.04	132	80.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.05	85		0		0		0	-
支出合計 A		328		458		439		734		95.9%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()	21		70		155		368		221.4%
	うち受益者負担 B	21		70		155		368		221.4%
	一般財源 C	307		388		284		366		73.2%
一般財源比率 C÷A		93.6%		84.7%		64.7%		49.9%		76.4%
受益者負担率 B÷A		6.4%		15.3%		35.3%		50.1%		231.0%
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済	<input type="checkbox"/> 2 一部導入済	<input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減	<input type="checkbox"/> サービス向上	<input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	社会福祉法人のぞみに委託済		
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 不可能	
可能な場合:導入可能な業務			
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減	<input type="checkbox"/> サービス向上	<input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容			
不可能の場合:選択の理由			

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	実利用者数	人	1	3	6	1	1	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	延利用日数	日	12	40	89	7	7	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				要援護高齢者の避難先の確保を目的とし、支援要請にその都度対応しているため。					
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	(指標値や事業費の推移についても言及して記入)			要援護高齢者の避難先の確保を目的とするため。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	従前どおり、介護認定以外の要援護高齢者の避難先を確保すると同時に29年度より要介護認定者の避難先を確保する。	
現在抱える課題と対策	課 題	介護度の高い要援護高齢者の緊急受け入れ先について、施設の空きがない場合がある。
	対 策	緊急受け入れ先であるため、次の受け入れ先との連携を重視し、対応を行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	要援護高齢者に対する緊急受け入れ先は重要であり、事業の継続が必要。今後も受け入れ先との連携を図り、要援護高齢者の対応を行う。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課		担当課長名	綿谷 憲司	
(※)第2期実施計画の事業名	救急医療情報キット配布事業		財務会計上の事業名	救急医療情報キット配布事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2021	12	財務会計上の短縮番号	2384	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目1高齢者福祉の充実			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	万一の救急事態に備え、持病・かかりつけ医・緊急連絡先などの救急医療情報を専用保管容器に保管し、救急時に救急隊員がその情報を活用し、よりの確な救命活動を可能とする。
事業の対象 (誰を、何を)	65歳以上の独居高齢者等
事業の手段・方法 (どのように)	救急医療情報キットを配布する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 22 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		68		67		67		106		100.0%
主な内訳	通信運搬費	68		67		67		106		100.0%
										-
人件費(人・千円)		0.27	858	0.27	872	0.14	482	0.14	482	51.9%
内訳	正職員	0.07	518	0.07	532	0.04	312	0.04	312	57.1%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.20	340	0.20	340	0.10	170	0.10	170	50.0%
支出合計 A		926		939		549		588		58.5%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	926		939		549		588		58.5%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	配布に当たっては、民生委員・地区福祉委員・老人クラブ・介護保険事業者・地域包括支援センターなどの協力により行っている。市では、フォローアップとして情報の更新案内を年一回通知している。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	個人情報のとりまとめ及び年1回の更新案内送付は、市で行う必要があるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28 年度	29 年度	30 年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指 標 値	☆	活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	配布数(延べ)	個	1,695	1,815	1,920	1,900	2,100
		活動 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/>							
		活動 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/>							
		活動 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/>							
		活動 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/>							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		配布数が着実に増加し、目標数を達成しているため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	配布にあたっては、民生委員・地区福祉委員・介護保険事業者・地域包括支援センターなどの協力により行っており、配布数を更に増やすとともに救急隊員による情報活用増加を目指す。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	更新案内を年1回送付しているが、封筒からはがきに変更し、経費を削減した。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	キット配布・救急隊員による情報活用は着実に増加しているため、制度自体は現状維持とするが、池田市訪問看護事業所、消防署と連携を強化し、救急医療情報カード様式の変更等充実を図る。	
現在抱える課題と対策	課 題	情報を利用する場合の利便性や、周知活動の見直しの余地があると考え。
	対 策	情報カードの内容の見直し及び周知方法の工夫について検討する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	制度自体は現状維持でよいと考えており、キット配布・救急隊員による情報活用は着実に増加している。今後、各団体との連携を強化し、広報誌やチラシを活用した継続的なPR活動により更なる配布数増加を目指す。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課		担当課長名	綿谷 憲司	
(※)第2期実施計画の事業名	養護老人ホーム入所判定事業		財務会計上の事業名	養護老人ホーム入所判定事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2021	13	財務会計上の短縮番号	2285	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目1高齢者福祉の充実			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	適切な入所判定・措置継続判定を行う。
事業の対象 (誰を、何を)	65歳以上の高齢者
事業の手段・方法 (どのように)	養護老人ホーム入所判定委員会を開催する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	老人福祉法第10条の3 第11条

2 事業費等

区 分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		1		0		0		2		-
主な 内訳	消耗品費	1		0		0		1		-
	通信運搬費							1		-
人件費(人・千円)		0.13	905	0.08	608	0.07	546	0.07	546	87.5%
内 訳	正職員	0.12	888	0.08	608	0.07	546	0.07	546	87.5%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.01	17		0		0		0	-
支出合計 A		906		608		546		548		89.8%
財 源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	906		608		546		548		89.8%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	個人情報の観点から市が実施すべき事業。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	入所判定委員会の開催	回	1	1	1	1	1
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		福祉施策に関する施策を推進する体制整備を図るために、継続的に開催をしている。						
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	適切な入所判定・措置継続判定を行っているため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	入所判定及び年1回の措置継続判定をする。	
現在抱える課題と対策	課 題	委員の日程調整が難しい。
	対 策	できるだけ委員会に出席を依頼し、無理な場合は持ち回り決裁を行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	入所判定及び年1回の措置継続判定をする必要があるため、事業を継続していく。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 保険医療課		担当課長名	奥村 芳弘
(※)第2期実施計画の事業名	老人医療事業		財務会計上の事業名	老人医療事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2021	16	財務会計上の短縮番号	2470
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち		
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実		
	項目	項目1高齢者福祉の充実		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	受給者の医療費負担を軽減することにより、健康の保持と生活の安定、福祉の増進を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	65歳以上で障がい者医療、ひとり親家庭医療の対象者及び特定疾患(56疾患)、結核、自立支援医療(精神通院)を受給している者。
事業の手段・方法 (どのように)	入院・通院に係る健康保険適用後の自己負担額から規則で定める自己負担額を控除した金額を助成する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 48 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	大阪府老人医療費助成要領・池田市老人医療費の助成に関する条例

2 事業費等

区分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		139,089		154,694		99,043		35,820		64.0%
主な内訳	手数料	2,979		3,132		2,181		901		69.6%
	電算委託料	2,809		2,809		2,774		2,666		98.8%
	老人医療扶助費	133,176		148,456		93,694		32,000		63.1%
人件費(人・千円)		1.30	8,480	1.30	8,700	1.30	8,920	0.90	3,400	100.0%
内訳	正職員	1.10	8,140	1.10	8,360	1.10	8,580	0.10	780	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0	0.50	1,950	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0	0.10	330	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.20	340	0.20	340	0.20	340	0.20	340	100.0%
支出合計 A		147,569		163,394		107,963		39,220		66.1%
財源	国・府支出金	62,741		70,581		55,736		16,549		79.0%
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	84,828		92,813		52,227		22,671		56.3%
一般財源比率 C÷A		57.5%		56.8%		48.4%		57.8%		85.2%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 1 実施済(平成 30 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容		平成30年4月から老人医療と障がい者医療に関して、一医療機関当たり入院・通院とも月2日までの負担を撤廃し、月3,000円までの負担とするともに、月額上限負担額を2,500円から3,000円へ改正。 また、これまで無料であった院外調剤への自己負担額の導入。								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	医療費助成に係る電算システムを委託するとともに、窓口業務と医療証の発行に係る業務を委託している。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	現在、窓口委託を実施しており、府補助金申請や自動償還等の意思決定は市職員が担当が必要と考える。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	対象者把握	%	100	100	100	—	100
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	申請率	%	100	100	100	—	100
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	対象者	人	1,361	1,449	361	—	400
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	1人当たりの年間給付額	円	97,852	102,454	259,537	—	80,000
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		医療費負担を軽減できたため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	医療費の一部を助成することで、対象者が必要とする医療を容易に受けることができる。事業の効率性については、平成30年6月から簡易な窓口業務を民間委託しており、事務の効率化を図っている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 30 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	平成30年度の制度改革に伴い自動償還制度を導入し、受給者の利便性の向上を図っている。また、同年6月から簡易な窓口業務を民間委託している。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	平成30年11月から重度の障がい者は重度障がい者医療へ移行したため、対象者と扶助費が減少するとともに、対象者については年次更新において所得超過で対象外となるため、減少に向かっている。	
現在抱える課題と対策	課 題	自動償還制度の実施による事務処理の大幅な増加。
	対 策	任期付短時間勤務職員の1名増員により対応している。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	大阪府制度の改正により、令和3年3月31日までで廃止となるため、それまでの間、効率的な運営に努めていきたい。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 地域支援課		担当課長名	山本 泰正
(※)第2期実施計画の事業名	包括的支援事業		財務会計上の事業名	総合相談事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2021	19	財務会計上の短縮番号	8911
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち		
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実		
	項目	項目1高齢者福祉の充実		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計 (介護保険事業特別会計) <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	適切な制度、サービス、機関につなげ、継続的にフォローする。
事業の対象 (誰を、何を)	高齢者
事業の手段・方法 (どのように)	多様な相談に応じる
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 18 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	介護保険法第115条の45

2 事業費等

区 分		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		16,112		32,110		30,855		34,574		96.1%
主な内訳	委託料	16,090		32,110		30,855		34,306		96.1%
	需用費	22						85		-
	消耗品費							183		-
人件費(人・千円)		0.17	1,258	0.10	760	0.10	780	0.10	780	100.0%
内訳	正職員	0.17	1,258	0.10	760	0.10	780	0.10	780	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		17,370		32,870		31,635		35,354		96.2%
財源	国・府支出金	9,426		18,624		23,424		19,966		125.8%
	地方債									-
	その他()	3,545		7,064		1,492		7,953		21.1%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	4,399		7,182		6,719		7,435		93.6%
一般財源比率 C÷A		25.3%		21.8%		21.2%		21.0%		97.2%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	高齢者の様々な相談を身近な窓口で相談できるよう、地域支援事業の包括的支援事業として、地域包括支援センターに委託して実施。
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (実績)	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	高齢者実態把握	人	800	867
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	総合相談	人	3,520	3,626	3,851	-	-	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				多様な相談に応じ、必要な継続的フォローにつなげることができたため					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)				介護、医療、福祉、生活支援等様々な相談に応じて実態を把握し、適切な機関、サービス等につなげ、継続的に支援している。今後も高齢者の相談窓口として有効であるが、周知の方法については、改善の余地がある。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	地域包括支援センター委託事業とし、今後も高齢者の身近な相談窓口として相談者が安心して相談できる環境づくり、対応を行う。	
現在抱える課題とその対策	課 題	高齢化が進む中、高齢者の相談窓口として周知方法を検討する。
	対 策	今後も身近な窓口として、配布物等に掲載し、高齢者に周知していく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	今後も関係機関と連携し、地域包括支援センターを身近な相談窓口として機能をさせるとともに、相談者のフォローを十分に行っていく。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 地域支援課		担当課長名	山本 泰正	
(※)第2期実施計画の事業名	包括的支援事業		財務会計上の事業名	権利擁護事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2021	19	財務会計上の短縮番号	8912	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目1高齢者福祉の充実			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計 (介護保険事業特別会計) <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	高齢者の権利擁護
事業の対象 (誰を、何を)	高齢者
事業の手段・方法 (どのように)	権利侵害の予防や対応、権利行使の支援
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 18 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	介護保険法第115条の45

2 事業費等

区分		28年度(決算)		29年度(決算)		30年度(決算)		元年度(予算)		H30/H29
事業費(千円)		16,378		32,327		31,072		34,769		96.1%
主な内訳	事業委託料	16,089		32,109		30,854		34,306		96.1%
	相談業務委託料	227		194		194		363		100.0%
	報償金	57		24		24		100		100.0%
人件費(人・千円)		0.17	1,258	0.10	760	0.10	780	0.10	780	100.0%
内訳	正職員	0.17	1,258	0.10	760	0.10	780	0.10	780	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		17,636		33,087		31,852		35,549		96.3%
財源	国・府支出金	9,581		18,750		23,589		20,079		125.8%
	地方債									-
	その他()	3,603		7,112		1,502		7,997		21.1%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	4,452		7,225		6,761		7,473		93.6%
一般財源比率 C÷A		25.2%		21.8%		21.2%		21.0%		97.2%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	高齢者の人権や財産を守る権利擁護、高齢者虐待防止への取り組みを地域支援事業の包括的支援事業として、地域包括支援センターに委託して実施
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度	29年度	30年度	目標値(H30)	元年度(予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	相談対応者	人	223	176	222	-	-	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				多様な相談に応じ、高齢者の権利擁護に役立っている。					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない)	<input type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)			
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない)	<input type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)			
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)			高齢者の権利を守るため、高齢者虐待、消費者被害等の相談の応じる中で、虐待や権利侵害の防止に取り組んでいる。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	地域包括支援センターの委託事業とし、今後も高齢者の身近な相談窓口として、安心できる環境づくりを行う。	
現在抱える課題とその対策	課題	高齢化が進む中、高齢者の相談窓口として周知方法を検討する。
	対策	今後も身近な窓口として、配布物等に掲載し、高齢者に周知していく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	今後も関係機関と連携し、高齢者の人権や財産等の権利擁護、虐待防止に取り組んでいく。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 地域支援課		担当課長名	山本 泰正	
(※)第2期実施計画の事業名	包括的支援事業		財務会計上の事業名	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2021	19	財務会計上の短縮番号	8913	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目1高齢者福祉の充実			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計 (介護保険事業特別会計) <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	包括的・継続的なケアを実現する
事業の対象 (誰を、何を)	多様な問題を抱える高齢者を支援するケアマネジャー等関係機関
事業の手段・方法 (どのように)	関係機関との連携体制を整え、ケアマネジャーの相談に応じ、支援する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 18 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	介護保険法第115条の45

2 事業費等

区分		28年度(決算)		29年度(決算)		30年度(決算)		元年度(予算)		H30/H29
事業費(千円)		32,739		32,109		31,252		34,811		97.3%
主な内訳	事業委託料	32,180		32,109		30,853		34,305		96.1%
	印刷製本費	428		0		399		406		-
	報償金	131		0		0		100		-
人件費(人・千円)		0.17	1,258	0.10	760	0.10	780	0.10	780	100.0%
内訳	正職員	0.17	1,258	0.10	760	0.10	780	0.10	780	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		33,997		32,869		32,032		35,591		97.5%
財源	国・府支出金	19,152		18,623		23,726		20,103		127.4%
	地方債									-
	その他()	7,202		7,064		1,510		8,007		21.4%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	7,643		7,182		6,796		7,481		94.6%
一般財源比率 C÷A		22.5%		21.8%		21.2%		21.0%		97.1%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	高齢者の状態の変化に対応した長期継続的な後方支援を行うため、地域包括支援センターに委託して実施
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値(H30)	元年度(予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指 標 値	☆	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	ケアマネ個別指導	人	188	154	116	200	200
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	困難事例への指導・助言	人	154	67	115	150	150
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				ケアマネや地域との関係機関との連携・協力体制を構築している。					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない)	<input type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)			
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない)	<input type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)			
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)			必要に応じ相談支援が行われるようになっている。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	地域包括支援センター委託事業とし、今後も身近な相談窓口として安心できる環境づくり、対応を行う。	
現在抱える課題とその対策	課 題	ケアマネジャー個別指導、困難事例の指導・助言とも内容が複雑化している。
	対 策	困難事例については、2ヶ月に1回法律相談を依頼している。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	多様な問題を抱える高齢者へ支援するために、関係機関との連携体制を整えとともに、相談員の相談に応じ支援を行う。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 地域支援課		担当課長名	山本泰正	
(※)第2期実施計画の事業名	包括的支援事業		財務会計上の事業名	地域ケア会議推進事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2021	19	財務会計上の短縮番号	8927	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目1高齢者福祉の充実			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計(介護保険事業特別会計) <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	地域のネットワーク構築、ケアマネジメント支援、地域課題の把握等を推進。
事業の対象(誰を、何を)	介護支援専門員、地域包括支援センター
事業の手段・方法(どのように)	多職種協働による事例検討等実施。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 18 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	介護保険法第115条の45

2 事業費等

区分		28年度(決算)		29年度(決算)		30年度(決算)		元年度(予算)		H30/H29	
事業費(千円)						424		1,104		-	
主な内訳	医師等報酬金					420		820		-	
	需用費・役務費					4		44		-	
	事業委託料					0		240		-	
人件費(人・千円)		0.00	0	0.00	0	0.79	2,762	0.79	2,772	-	
内訳	正職員	0		0		0.19		1,482		-	
	再任用短時間勤務職員	0		0		0		0		-	
	任期付職員(フルタイム)	0		0		0		0		-	
	任期付職員(短時間勤務)	0		0		0.10		320		0.10	330
	非常勤職員	0		0		0.10		280		0.10	280
臨時の任用職員		0		0		0.40		680		0.40	680
支出合計 A		0		0		3,186		3,876		-	
財源	国・府支出金					245		637		-	
	地方債									-	
	その他()					98		254		-	
	うち受益者負担 B									-	
一般財源 C		0		0		2,843		2,985		-	
一般財源比率 C÷A						89.2%		77.0%		-	
受益者負担率 B÷A										-	
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容											

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	個別ケース検討会議及び地域ネットワーク会議について、地域包括支援センターが実施。地域課題の掘り起こしに取り組んでいる。
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	既に委託している会議を除き、他の地域ケア会議は、保険者である市が委託先である地域包括支援センターと協力して実施することが適切であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度	29年度	30年度	目標値(H30)	元年度(予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	ケアプラン検証症例数(新規分)	件			9	6	9
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	個別ケース検討会議(4地域包括支援センター)	回			30	24	24
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	地域ネットワーク会議(4地域包括支援センター)	回			25	24	24
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		多職種協働による事例検討件数が伸びている。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		地域ケア会議のひとつであるケアマネージャー連絡会の開催回数を増やし、市内介護支援専門員及び地域包括支援センターとの連携・協力体制の向上に努めたい。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 30 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	地域ケア会議の体系を明確にし、個別課題の解決から地域課題の抽出、政策提言まで行えるよう会議を整理した。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	自立支援の観点から多職種が参加する自立支援型ケア会議を実施。また、訪問介護の回数が著しく多いケースに関して、検証する会議を設置。	
現在抱える課題とその対策	課題	個別課題から地域課題の抽出までの機能を各会議に持たせていない。
	対策	市が実施する地域ケア推進会議において、各会議の機能の周知を行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	地域ケア会議は、地域包括ケアシステムの構築において、地域の実情と政策形成の協議の場として中核を担う会議であり、今後の地域づくりの戦略を検討していく上で、さらなる機能の拡大が必要である。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課	担当課長名	綿谷 憲司
(※)第2期実施計画の事業名		財務会計上の事業名	高齢者日常生活援助事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号		財務会計上の短縮番号	2386
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実	
	項目	項目1高齢者福祉の充実	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	高齢者が属する世帯の日常生活の向上を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	65歳以上の者のみで構成される市民税非課税の高齢者世帯(原則)
事業の手段・方法 (どのように)	高齢者が属する世帯に対し、買い物等日常生活活動について援助サービスを提供する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 22 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市高齢者日常生活援助事業実施要綱

2 事業費等

区分	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	元年度 (予算)	H30/H29	
事業費(千円)	780	437	593	593	135.7%	
主な内訳	高齢者日常生活援助委託料	780	437	300	593	68.6%
						-
人件費(人・千円)	0.12 383	0.07 312	0.07 316	0.07 321	100.0%	
内訳	正職員	0.02 148	0.02 152	0.02 156	0.02 156	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0.05 150	0.05 160	0.05 160	0.05 165	100.0%
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0.05 85	0	0	0	-	
支出合計 A	1,163	749	909	914	121.4%	
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他()					-
	うち受益者負担 B					-
	一般財源 C	1,163	749	909	914	121.4%
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	池田市シルバー人材センターに委託
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	実利用者数	人	48	30	112	35	35	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	延利用者数	人	639	437	300	500	400	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				28年度から利用者の条件を改正したため利用者の減少が見込まれていたため。					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)			平成28年度から所得制限を設けた為効率的に実施されている					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	平成28年度より対象者を非課税世帯のみとし、自己負担額を500円から1,000円に変更した。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	高齢者が属する世帯に対し、買い物等日常生活活動について援助サービスを提供する。	
現在抱える課題とその対策	課題	本事業を本当に必要としている低所得者層の利用以外の方も利用しているため、精査が必要。
	対策	平成28年度より対象者を非課税世帯のみとし、自己負担額を500円から1,000円に変更したところであり、今後の推移を見守る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	平成28年度より対象者を非課税世帯のみとし、自己負担額を500円から1,000円に変更し、事業を継続していく。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 地域支援課	担当課長名	山本 泰正
(※)第2期実施計画の事業名		財務会計上の事業名	認知症施策推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号		財務会計上の短縮番号	8924
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実	
	項目	項目1高齢者福祉の充実	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計 (介護保険事業特別会計) <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	地域及び医療機関における認知症支援体制の強化
事業の対象 (誰を、何を)	認知症高齢者とその介護者
事業の手段・方法 (どのように)	認知症初期集中支援チームの設置、認知症地域支援推進員・サポート医の調整機能を強化することにより、早期に適切な支援を提供する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	介護保険法第115条の45

2 事業費等

区分		28年度(決算)		29年度(決算)		30年度(決算)		元年度(予算)		H30/H29
事業費(千円)		10,626		10,626		10,772		11,729		101.4%
主な内訳	事業委託料	10,328		10,328		10,354		10,749		100.3%
	負担金	200		200		260		320		130.0%
	報償金	36		36		13		480		36.1%
人件費(人・千円)		0.00	0	0.28	1,893	0.28	1,934	0.28	1,934	100.0%
内訳	正職員		0	0.23	1,748	0.23	1,794	0.23	1,794	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0	0	0	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)		0	0	0	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0	0	0	0	0	0	0	-
	非常勤職員		0	0.05	145	0.05	140	0.05	140	100.0%
臨時任用職員			0	0	0	0	0	0	0	-
支出合計 A		0		12,519		12,706		13,663		101.5%
財源	国・府支出金	6,163		6,163		6,221		6,774		100.9%
	地方債									-
	その他()	2,338		2,338		2,478		2,697		106.0%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	0		4,018		4,007		4,192		99.7%
一般財源比率 C÷A				32.1%		31.5%		30.7%		98.3%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	市立池田病院、地域包括支援センターへ委託。
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値(H30)	元年度(予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	認知症初期集中チーム員(累計)	人		13	13	17	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	認知症初期集中実績(年度毎)	人		14	31	20	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	認知症サポート医(累計)	人		4	5	10	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	認知症初期集中周知啓発パンフレット	冊		1	1	1	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				初期集中支援体制が整い、想起介入対応が行えている。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)			チーム員、サポート医の設置により、相談支援体制の初期整備は行えた。今後、初期集中の実績の件数、対応内容についてチーム員会議で検証を行うことで、効率的な実施を目指す。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	認知症の早期発見が可能となる体制、関係者の意識づくりを行う。	
現在抱える課題とその対策	課 題	認知症の地域医療体制が未成熟であり、早期発見に至っていない点。
	対 策	初期集中パンフレットの利活用、認知症ケアパスの作成により、相談窓口を広く周知し、早期発見に繋げる。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	高齢化が進む中、認知症高齢者も増加しているため、本事業は地域包括ケアシステムを深化させ、認知症の早期発見のために本事業の推進が必須である。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 地域支援課	担当課長名	山本 泰正
(※)第2期実施計画の事業名		財務会計上の事業名	在宅医療・介護連携推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号		財務会計上の短縮番号	8926
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実	
	項目	項目1高齢者福祉の充実	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計 (介護保険事業特別会計) <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	在宅医療と介護の一体的な提供
事業の対象 (誰を、何を)	医療と介護の両方を必要とする高齢者
事業の手段・方法 (どのように)	医療機関と介護事業者の連携を深め、課題の抽出とその解決、対応策を講じる。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 29 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	介護保険法第115条の45

2 事業費等

区分		28年度(決算)		29年度(決算)		30年度(決算)		元年度(予算)		H30/H29
事業費(千円)				17,004		16,005		16,005		94.1%
主な内訳	事業委託料			17,004		16,005		16,005		94.1%
										-
人件費(人・千円)		0.00	0	0.29	1,969	0.29	2,012	0.29	2,012	100.0%
内訳	正職員		0	0.24	1,824	0.24	1,872	0.24	1,872	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0	0.05	145	0.05	140	0.05	140	100.0%
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		0		18,973		18,017		18,017		95.0%
財源	国・府支出金			9,862		9,243		9,243		93.7%
	地方債									-
	その他()			3,741		3,682		3,681		98.4%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	0		5,370		5,092		5,093		94.8%
一般財源比率 C÷A				28.3%		28.3%		28.3%		99.9%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	市立池田病院へ委託。
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度	29年度	30年度	目標値(H30)	元年度(予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	地域医療連携推進事業に係る会議	回		12	6	10	
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	地域ケア会議(医療・介護関係者の情報共有支援)	回		12	8	10	
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	専門職の能力開発研修	回		11	7	10	
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	ACP推進事業	回		9	2	1	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	事前指示書作成	部		1	1	1	
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				課題の抽出、共有のための会議を持ち、検討することができた。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか (改善の余地がない)			<input type="checkbox"/> A 有効的である <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input type="checkbox"/> A 効率的である (改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				会議回数・研修回数は一定確保できており、検討する場の整備ができた状況。今後、課題別、職種別、また、多職種連携に向けて検討していく必要がある。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	平成30年度に抽出された地域課題について重点的に取り組む。	
現在抱える課題とその対策	課題	①在宅看取りに関する地域医療体制が未整備。②介護職を初めとする専門職の看取りの力が未熟。
	対策	①医師会との連携の強化。②専門職向けの研修会開催により能力開発を行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	地域医療体制については医師会医師の協力が必須であり、短期間での整備は困難であるが、各専門職の能力開発と関係機関の緊密な連携は包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供のために着実に取り組む必要がある。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課	担当課長名	綿谷 憲司
(※)第2期実施計画の事業名		財務会計上の事業名	敬老の里プロジェクト推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号		財務会計上の短縮番号	2392
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実	
	項目	項目1地域福祉活動の推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	敬老の里プロジェクトの、基本構想を策定する。
事業の対象 (誰を、何を)	敬老会館及び周辺公共施設
事業の手段・方法 (どのように)	敬老会館及び周辺公共施設の機能集約・見直しを行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)						2,998		5,630		-
主な内訳	委託料					2,998				-
	測量委託料							5,000		-
	鑑定料							630		-
人件費(人・千円)		0.00	0	0.00	0	0.21	1,294	0.20	1,560	-
内訳	正職員		0		0	0.15	1,170	0.20	1,560	-
	再任用短時間勤務職員		0		0	0.01	39		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
臨時的任用職員			0		0	0.05	85		0	-
支出合計 A		0		0		4,292		7,190		-
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
一般財源 C		0		0		4,292		7,190		-
一般財源比率 C÷A						100.0%		100.0%		-
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容		受益者負担がないため								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	基本構想策定にあたり必要な情報の提供、市側の情報の集約、基本構想案の作成。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	必要な機能の選定については最終的に市の判断となるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	基本構想策定				完了	完了	
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	購入予定地測量・鑑定						完了
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				基本構想策定が完了したため。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となったか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)			基本構想の策定が完了し、想定どおり進んでいるため。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	令和5年4月のグランドオープンに向けて計画通り進んでいる。	
現在抱える課題と対策	課題	周辺住民や既存の利用者へ工事内容や新施設の機能について説明する必要がある。
	対策	説明会を開催し、周辺住民や既存の利用者に理解を求める。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	計画通りに進んでおり、遅延は見られないため。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 介護保険課		担当課長名	西田 理香子	
(※)第2期実施計画の事業名	介護保険事業		財務会計上の事業名	賦課徴収事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2022	1	財務会計上の短縮番号	8750	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目2介護保険事業の適切な運営			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計(介護保険特別会計) <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	介護保険料収率率向上
事業の対象(誰を、何を)	被保険者
事業の手段・方法(どのように)	普通徴収収納対策の強化、口座振替の推進
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	介護保険法第129条

2 事業費等

区分	28年度(決算)		29年度(決算)		30年度(決算)		元年度(予算)		H30/H29	
事業費(千円)	38		38		75		1,052		197.4%	
主な内訳	手数料		38		75		1,052		197.4%	
									-	
人件費(人・千円)	0.32	1,798	0.32	1,842	0.32	1,886	0.32	1,886	100.0%	
内訳	正職員	0.22	1,628	0.22	1,672	0.22	1,716	0.22	1,716	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
臨時的任用職員	0.10	170	0.10	170	0.10	170	0.10	170	100.0%	
支出合計 A	1,836		1,880		1,961		2,938		104.3%	
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()	38		38		75		1,052		197.4%
	うち受益者負担 B									-
一般財源 C	1,798		1,842		1,886		1,886		102.4%	
一般財源比率 C÷A	97.9%		98.0%		96.2%		64.2%		98.2%	
受益者負担率 B÷A									-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	保険料に係る納付書の再発行
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	口座振替依頼による介護保険システムへの口座情報入力作業及び口座振替開始通知等送付に関する作業
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	入力に係る時間及び人員の削減
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	目標値(H30)	元年度(予定)
				指	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	現年度普通徴収保険料収率率	%	85.4
標	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	口座振替率	%	25.0	26.5	29.0	29.5	29.5
値	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		普通徴収保険料収率率は堅調に増加傾向にあり、口座振替率も順調に推移している。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		目標達成のためには、現状に加えさらなる納付推奨が必要と考える。普通徴収継続者や年金天引きによる収納に切り替わる前の被保険者に対し、納付書送付時に口座振替依頼書の同封、電話対応時の案内や広報・パンフレット等に掲載し、今後も納付推奨を実施していく。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	窓口における事務を委託	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	事業費について、1件あたり口座振替は10円の手数料が必要であるが継続実施。さらに、H31年1月からはコンビニ収納(手数料1件あたり56円)を開始した。	
現在抱える課題と対策	課題	65歳到達当初は普通徴収となるため、払い忘れの場合がある。
	対策	普通徴収者については、払い忘れのない口座振替を推進する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	口座振替の推進を中心とした、収納率向上対策の強化を図る。H31年1月から開始したコンビニ収納についても、引き続き継続し、被保険者の利便性の向上を図る。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 介護保険課		担当課長名	西田 理香子	
(※)第2期実施計画の事業名	介護保険事業		財務会計上の事業名	認定調査事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2022	1	財務会計上の短縮番号	8770	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目2介護保険事業の適切な運営			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計 (介護保険事業特別会計) <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	介護認定取得のための訪問調査及び調査票の作成
事業の対象 (誰を、何を)	要介護認定申請者
事業の手段・方法 (どのように)	調査対象者の心身の状況、介護の手間等を調査
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 12 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	介護保険法第27条

2 事業費等

区分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		42,427		46,920		47,684		55,865		101.6%
主な内訳	手数料	28,110		27,249		27,058		30,046		99.3%
	調査委託料	14,186		13,624		12,552		14,969		92.1%
	需用費	106		38		107		161		281.6%
人件費(人・千円)		4.42	14,308	4.21	13,196	5.91	19,388	5.94	20,722	140.4%
内訳	正職員	0.42	3,108	0.21	1,596	0.81	6,318	0.84	6,552	385.7%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員	4.00	11,200	4.00	11,600	4.00	11,200	5.00	14,000	100.0%
	臨時的任用職員		0		0	1.10	1,870	0.10	170	-
支出合計 A		56,735		60,116		67,072		76,587		111.6%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	56,735		60,116		67,072		76,587		111.6%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	更新申請(一部の変更申請)を居宅介護支援事業所に委託
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	池田市で行っている認定調査(新規申請、変更申請)
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	アウトソーシングを検討しているが、コスト面で折り合いがつかない
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	主治医意見書作成	件	6,247	6,071	5,989	6,600	6,600
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	池田市調査員による調査	件	1,713	1,722	1,954	2,050	2,050
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	それ以外の事業所調査	件	4,397	4,228	3,978	4,550	4,550
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果						
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		被保険者の申請件数に左右されるため、目標値=活動ではないが、順次対応できている						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (目標値や事業費の推移についても言及して記入)	高齢化が進む中、認定調査については被保険者等の都合があるものなので、改善の余地がないと考えている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	調査員による訪問調査を順次行ない、申請から認定結果が出るまでの期間を国が定める期間内に行う。	
現在抱える課題とその対策	課 題	高齢者の増加に伴い認定申請数が増加し認定調査件数は年々増加。総合事業を開始したことにより、新規申請者が増加している。また、市の調査との標準化が課題。
	対 策	申請数に対し認定調査委託事業所の調査受入件数が不足しているため、市の認定調査員の更なる拡充の検討が必要。また、認定調査委託事業者に対し研修を実施し、市の調査との標準化を図る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	総合事業を開始したことによる新規申請の増加が見込まれるため、認定調査員の更なる拡充を検討しつつ、認定調査の質を確保しながら、認定に係る日数の短縮に努めたい。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 介護保険課		担当課長名	西田 理香子	
(※)第2期実施計画の事業名	介護保険事業		財務会計上の事業名	共同介護認定審査会事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2022	1	財務会計上の短縮番号	8765	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目2介護保険事業の適切な運営			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計(介護保険特別会計) <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	要介護・要支援の判定を行う
事業の対象(誰を、何を)	要介護(要支援)認定申請者
事業の手段・方法(どのように)	池田市、豊能町、能勢町の1市2町が共同で認定審査会を開催
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 12 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	介護保険法第14条

2 事業費等

区分		28年度(決算)		29年度(決算)		30年度(決算)		元年度(予算)		H30/H29
事業費(千円)		6,111		6,107		6,236		7,249		102.1%
主な内訳	電算委託料	2,417		2,417		2,417		2,440		100.0%
	使用料及び賃借料	2,354		2,354		2,354		2,407		100.0%
	需用費	686		686		819		1,210		119.4%
人件費(人・千円)		3.21	10,354	3.90	16,140	3.39	11,632	3.44	12,222	86.9%
内訳	正職員	0.21	1,554	0.90	6,840	0.29	2,262	0.34	2,652	32.2%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)	2.00	6,000	2.00	6,400	2.00	6,400	2.00	6,600	100.0%
	非常勤職員	1.00	2,800	1.00	2,900	1.00	2,800	1.00	2,800	100.0%
	臨時的任用職員		0		0	0.10	170	0.10	170	-
支出合計 A		16,465		22,247		17,868		19,471		80.3%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	16,465		22,247		17,868		19,471		80.3%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	審査会資料の準備、発送等
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	審査会の進行、事後処理に係る事務について
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	職員による事務処理時間の短縮
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度	29年度	30年度	目標値(H30)	元年度(予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	開催件数	件	302	285	288	290	290
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	1回あたりの審査件数	件	28.6	28.2	28.2	30.0	30.0
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	認定に要する日数	日	38	35	35	35	35
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	審査会合議体数	合議体	24	24	24	24	24
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果						
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		申請者の増加に伴い、認定に要する日数が30日を超えているが、順次対応できている。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	総合事業の開始により、要支援者の更新申請数はやや減少すると見込んでいるが、新規申請は増加傾向にあり、また認定に要する日数は短縮の必要があるため、審査会開催数は従来通り開催。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	審査会合議体数の増加	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	総合事業の開始により、要支援者の更新申請数はやや減少すると見込んでいるが、新規申請は増加傾向にあり、また認定に要する日数は短縮の必要があるため、審査会開催数は従来通り開催していく。	
現在抱える課題と対策	課題	高齢化が進み認定件数が増加していることに加え、制度改正により審査方法等を見直しも行われているため、合議体毎による審査結果にばらつきがないようにする必要がある。
	対策	合議体毎の標準化を図るため、審査会委員への積極的な情報提供や研修を実施していくことを検討。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	高齢化による認定審査件数の増加や制度改正に対応するため、1市2町が共同で認定審査会を開催するにあたり、中長期的な視点でアウトソーシングを含めて検討を重ねる。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 介護保険課	担当課長名	西田 理香子
(※)第2期実施計画の事業名	介護保険事業	財務会計上の事業名	福祉用具・住宅改修支援事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2022 1	財務会計上の短縮番号	8933
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実	
	項目	項目2介護保険事業の適切な運営	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計 (介護保険事業特別会計) <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	居宅介護支援の提供を受けていない要介護者に対し、適切な助言を行う。
事業の対象 (誰を、何を)	理由書を作成した居宅介護支援事業所
事業の手段・方法 (どのように)	居宅介護(介護予防)支援の提供を受けていない被保険者に係る理由書を作成したケアマネジャー等の作成経費の一部を支給する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 13 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市住宅改修支援事業補助金要綱

2 事業費等

区分		28年度(決算)		29年度(決算)		30年度(決算)		元年度(予算)		H30/H29
事業費(千円)		46		56		50		120		89.3%
主な内訳	補助金	46		56		50		120		89.3%
										-
人件費(人・千円)		0.13	392	0.03	228	0.03	234	0.03	234	100.0%
内訳	正職員	0.03	222	0.03	228	0.03	234	0.03	234	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.10	170		0		0		0	-
支出合計 A		438		284		284		354		100.0%
財源	国・府支出金	27		32		29		69		90.6%
	地方債									-
	その他()	10		12		12		28		100.0%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	401		240		243		257		101.3%
一般財源比率 C÷A		91.6%		84.5%		85.6%		72.6%		101.3%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	支給決定などの判断を伴う処理があり、単純な事務作業ではないため

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度	29年度	30年度	目標値(H30)	元年度(予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	助成件数	件	23	28	25	60	60
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		支給要件の性質上、目標値に達する=活動とはいえないが、ニーズに依っている。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(目標値や事業費の推移についても言及して記入)	介護認定を受けているが介護サービスを利用していない被保険者に対し有効である。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	介護保険制度の中の必須事業	
現在抱える課題と対策	課題	居宅介護支援事業所等への事業内容の周知
	対策	居宅介護支援事業所等に連絡会等を通じて周知する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	介護保険制度の中の必須事業であるため、実績の多寡にかかわらず、今後も引き続き事業を継続する。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 地域支援課		担当課長名	山本 泰正	
(※)第2期実施計画の事業名	介護保険事業		財務会計上の事業名	介護給付等費用適正化事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2022	1	財務会計上の短縮番号	8930	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目2介護保険事業の適切な運営			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計 (介護保険事業特別会計) <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	介護給付総額を抑制
事業の対象 (誰を、何を)	介護保険受給者、介護保険事業者
事業の手段・方法 (どのように)	介護給付の費用を多角的に精査
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 18 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	介護保険法第115条の45

2 事業費等

区分		28年度(決算)		29年度(決算)		30年度(決算)		元年度(予算)		H30/H29
事業費(千円)		6,478		6,392		6,546		7,204		102.4%
主な内訳	事務委託料	4,752		4,806		4,698		4,860		97.8%
	設備保守点検委託料	594		594		972		981		163.6%
	通信運搬費	699		863		768		1,104		89.0%
人件費(人・千円)		0.52	1,648	0.52	1,752	0.12	936	0.12	936	23.1%
内訳	正職員	0.02	148	0.02	152	0.12	936	0.12	936	600.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0.50	1,500	0.50	1,600		0		0	0.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		8,126		8,144		7,482		8,140		91.9%
財源	国・府支出金	3,790		3,739		3,780		4,160		101.1%
	地方債									-
	その他()	1,425		1,406		1,505		1,657		107.0%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	2,911		2,999		2,197		2,323		73.3%
一般財源比率 C÷A		35.8%		36.8%		29.4%		28.5%		79.7%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	業務の一部を委託することにより、一定の効果は得られている。
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	事業者の指導業務。
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	専門的な知識を有するものに事業者の指導を委託する。(適切な委託先があれば可能)
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	元年度
				(実績)	(実績)	(実績)	(H30)	(予定)
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	ケアプラン点検件数	件	60	60	130	70	135
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	給付費通知件数	件	12,113	12,044	13,264	13,000	16,000
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				ケアプラン点検については、市内事業所に対して実施。給付費通知は、年4回通知。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか		<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		一定の効果は得られている。介護給付費適正化支援パッケージシステムを活用し、個別の給付内容を把握することにより、増加する介護給付に対し適正な運用を図っていく。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 30 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	ケアプラン点検を全件ヒアリング方式とし、フォローのヒアリングも行っている。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	平成30年度からケアプラン点検の実施方法を見直し、介護支援専門員の質の向上を図っている。	
現在抱える課題とその対策	課題	給付費が適正であるかを判断するため、専門的な知識や技術が必要である。
	対策	事業者の知識や技術の向上を図る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	介護給付費の増加が保険料の高額化へと繋がるため、給付等費用適正化事業は必須である。本事業をより効果的なものとするため、法改正に合わせてシステム環境を整備し今後も継続する。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 介護保険課	担当課長名	西田 理香子
(※)第2期実施計画の事業名	高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業	財務会計上の事業名	介護保険事業計画等策定事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2022 2	財務会計上の短縮番号	8736
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実	
	項目	項目2介護保険事業の適切な運営	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計(介護保険事業特別会計) <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	介護ニーズや介護給付費及び保険料の水準の予測等の目標と具体的な施策
事業の対象(誰を、何を)	高齢者に係る平成30年度から32年度の3年間を計画期間とした事業計画
事業の手段・方法(どのように)	高齢者に係る平成30年度から32年度の3年間を計画期間とした事業計画を計画策定委員会の開催等により策定
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	介護保険法第117条

2 事業費等

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)	H30/H29	
事業費(千円)	637	3,197	0	935	0.0%	
主な内訳	調査委託料	637			-	
	計画策定委託料				-	
人件費(人・千円)	0.52 3,278	0.49 3,134	0.00 0	0.49 3,212	0.0%	
内訳	正職員	0.42 3,108	0.39 2,964	0 0	0.39 3,042	0.0%
	再任用短時間勤務職員	0 0	0 0	0 0	0 -	
	任期付職員(フルタイム)	0 0	0 0	0 0	0 -	
	任期付職員(短時間勤務)	0 0	0 0	0 0	0 -	
	非常勤職員	0 0	0 0	0 0	0 -	
臨時的任用職員	0.10 170	0.10 170	0 0	0.10 170	0.0%	
支出合計 A	3,915	6,331	0	4,147	0.0%	
財源	国・府支出金				-	
	地方債				-	
	その他()				-	
	うち受益者負担 B				-	
一般財源 C	3,915	6,331	0	4,147	0.0%	
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%		100.0%	-	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	計画策定委員会開催支援、事業量見込の入力支援等
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	計画策定に必須のニーズ調査の実施、集計、分析等
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	業務の一部を委託することにより、国の示す指針に基づくより精度の高い計画の策定が可能。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	目標値(H30)	元年度(予定)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	計画策定	-	0	1	0	0	0
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	計画策定のためのニーズ調査	-	1	1	0	0	1
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	介護保険法で定められている事業であり、国から示される指針に基づき策定できている。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	介護保険事業計画の策定は3年に1度と定められているが、担当する職員への負担が大きく、また資質にも大きく左右される。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	介護保険法の中で3年毎に策定すると定められているため、前年度との比較は困難であるが、第7期計画内容について、PDCAサイクルに基づき検討していく。	
現在抱える課題と対策	課 題	介護保険事業計画の策定については、一定の知識と経験が必要となるため、担当職員だけではなく、課員全員の知識と経験が重要となってくる。
	対 策	計画作成のノウハウを持つ事業者に業務の一部を委託することにより、職員では不足している部分を補い、計画を策定している。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	介護保険事業計画については、3年に1度策定すると介護保険法で定められている。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課		担当課長名	綿谷 憲司	
(※)第2期実施計画の事業名	家族介護支援事業		財務会計上の事業名	家族介護支援事業(紙おむつ)	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2022	4	財務会計上の短縮番号	8931	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目2介護保険事業の適切な運営			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計(介護保険事業特別会計) <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	家庭の経済的負担の軽減を図る。
事業の対象(誰を、何を)	65歳以上で、介護保険の要介護4または5で市・府民税非課税世帯に属する常時おむつが必要な者
事業の手段・方法(どのように)	紙おむつ券を給付し、在宅介護の支援を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 12 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市要介護高齢者紙おむつ給付事業実施要綱

2 事業費等

区分		28年度(決算)		29年度(決算)		30年度(決算)		元年度(予算)		H30/H29
事業費(千円)		1,028		1,017		955		1,263		93.9%
主な内訳	委託料	1,028		1,017		955		1,263		93.9%
										-
人件費(人・千円)		0.11	529	0.17	702	0.16	1,004	0.09	458	94.1%
内訳	正職員	0.06	444	0.07	532	0.12	936	0.05	390	171.4%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.05	85	0.10	170	0.04	68	0.04	68	40.0%
支出合計 A		1,557		1,719		1,959		1,721		114.0%
財源	国・府支出金	601		595		729		729		122.5%
	地方債									-
	その他(介護保険料)	226		224		290		291		129.5%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	730		900		940		701		104.4%
一般財源比率 C÷A		46.9%		52.4%		48.0%		40.7%		91.6%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	池田市社会福祉協議会に委託済
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	課税状況など市で保有する個人情報の確認が必要であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値(H30)	元年度(予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指 標 値	☆	活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	利用延人数	人	73	71	67	100	75
	☆	活動 <input type="checkbox"/> 成果 <input checked="" type="checkbox"/>	利用延枚数	枚	636	627	588	960	700
		活動 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/>							
		活動 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/>							
		活動 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/>							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				65歳以上で、介護保険の要介護が4,5及び市・府民税が非課税で在宅の者に対し、家庭の経済的負担を軽減を図るため紙おむつを支給しているが、目標数に達しなかったため。					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか			<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由(目標値や事業費の推移についても言及して記入)			目標値には達しておらず、ホームページや広報誌によるPRや介護事業所へ制度を周知していく必要がある。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	支給額を月1,000円から1,600円に引上げる。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	平成26年度に支給額を1,000円から1,600円に引き上げ、制度の充実を図ってきたため、推移を見守り、事業内容を検証していく。	
現在抱える課題と対策	課 題	近隣市に比べて支給額が少ない。
	対 策	財政状況及び他市の動向を見ながら、事業のあり方から検討していく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	介護保険法の改正により財源確保が課題になっているが、ニーズがあるため継続。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 介護保険課		担当課長名	西田 理香子	
(※)第2期実施計画の事業名	家族介護支援事業		財務会計上の事業名	家族介護支援事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2022	4	財務会計上の短縮番号	8931	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目2介護保険事業の適切な運営			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計 (介護保険事業特別会計) <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	継続的な在宅ケアに資する
事業の対象 (誰を、何を)	1年間、介護保険サービスを利用していない要介護4,5の要介護高齢者を介護する家族
事業の手段・方法 (どのように)	慰労金の支給
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 13 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市家族介護慰労金支給事業実施要綱

2 事業費等

区分	28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29	
	金額	単価	金額	単価	金額	単価	金額	単価		
事業費(千円)	418		200		100		300		50.0%	
主な内訳	介護保険家族介護慰労金	300	200	100	300	50.0%				
	消耗品	102							-	
人件費(人・千円)	0.60	2,950	0.10	760	0.05	390	0.05	390	50.0%	
内訳	正職員	0.30	2,220	0.10	760	0.05	390	0.05	390	50.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員	0.20	560		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.10	170		0		0		0	-
支出合計 A	3,368		960		490		690		51.0%	
財源	国・府支出金	245		117		58		173		49.6%
	地方債									-
	その他()	92		44		23		69		52.3%
	うち受益者負担 B									-
一般財源 C	3,031		799		409		448		51.2%	
一般財源比率 C÷A	90.0%		83.2%		83.5%		64.9%		100.3%	
受益者負担率 B÷A									-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し									
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	慰労金については、給付実績確認が必要なため、市直営で行うべきものであるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	支給対象者数	人	3	2	1	3	3
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	実績に基づく判断が困難であるが、支援ニーズに応じている。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	広報誌において在宅介護を行っている家族へ周知を図っている							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	これまでどおり、広報誌にて周知を行う。
現在抱える課題と対策	課題: なし 対策:
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	実績に基づく評価は困難であるが、家族介護者に対し慰労金を支給することにより、家族への支援を行っている。

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 地域支援課		担当課長名	山本 泰正	
(※)第2期実施計画の事業名	家族介護支援事業		財務会計上の事業名	家族介護支援事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2022	1	財務会計上の短縮番号	8931	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目2介護保険事業の適切な運営			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計(介護保険事業特別会計) <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	認知症になっても安心してできる地域づくりを行う
事業の対象(誰を、何を)	認知症の高齢者とその家族
事業の手段・方法(どのように)	認知症を理解するサポーターを増やすとともに、認知症の人の家族を支援するため、GPSやSOSネットワークの構築を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 27 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市徘徊高齢者探索システム事業実施要綱、池田市徘徊高齢者等SOSネットワーク事業実施要綱

2 事業費等

区分		28年度(決算)		29年度(決算)		30年度(決算)		元年度(予算)		H30/H29
事業費(千円)		418		251		266		1,456		106.0%
主な内訳	介護保険家族慰労金	300								-
	徘徊高齢者探索システム委託料	15		45		53		416		117.8%
	消耗品費	102		185		190		286		102.7%
人件費(人・千円)		0.60	2,950	0.50	2,860	0.45	1,930	0.50	1,930	90.0%
内訳	正職員	0.30	2,220	0.30	2,280	0.15	1,170	0.15	1,170	50.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員	0.20	560	0.20	580	0.15	420	0.15	420	75.0%
	臨時的任用職員	0.10	170		0	0.20	340	0.20	340	-
支出合計 A		3,368		3,111		2,196		3,386		70.6%
財源	国・府支出金	245		147		153		841		104.1%
	地方債									-
	その他()	92		55		61		335		110.9%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	3,031		2,909		1,982		2,210		68.1%
一般財源比率 C÷A		90.0%		93.5%		90.3%		65.3%		96.5%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	認知症サポーター養成講座の講師を地域包括支援センターに依頼している
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	対象者の個人情報を扱い、多様な関係機関との調整が必要のため、市直営で行うべき。また、認知症サポーター養成講座の事務局は、行政と定められている。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値(H30)	元年度(予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	認知症サポーター養成講座受講者数	人	1,193	1,370	1,268	1,000	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	認知症サポーター累計	人	5,459	6,829	8,097	7,800	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				受講者数は毎年目標値に到達しており、着実にサポーターの数は増加しているため。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない)	<input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)			
	事業は効率的に実施できているか		<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない)	<input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)			
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		認知症サポーター養成講座受講者数に関しては順調に推移しているが、その後の活動促進について検討する余地がある。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	サポーター養成講座については引き続き実施。徘徊高齢者等SOSネットワークについては、協力者の拡大を図る。
現在抱える課題とその対策	課 題 認知症サポーターのフォローアップ 対 策 H30年7月に認知症サポーターフォローアップ講座を開催、9月に認知症高齢者徘徊模擬訓練の参加を通じ、地域での相互扶助・協力連携・ネットワークづくりの参画を促す。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	地域包括支援センター・キャラバンメイト連絡会を中心に認知症になっても安心して暮らせるために、継続してサポーターを養成することで地域のサポート体制を強化していく。また、探索システムやSOSネットワークを通じて、認知症による徘徊高齢者のサポートの充実を図る。

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課		担当課長名	綿谷 憲司	
(※)第2期実施計画の事業名	成年後見制度利用支援事業		財務会計上の事業名	成年後見制度利用支援事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2022	5	財務会計上の短縮番号	8932	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目2介護保険事業の適切な運営			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計 (介護保険事業特別会計) <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	意思能力が不十分あるいは欠けた高齢者の身上監護を成年後見人等が行うことにより、本人を保護し、権利が守られる。
事業の対象 (誰を、何を)	成年後見人が必要であって、4親等以内の親族がいない高齢者。
事業の手段・方法 (どのように)	意思能力が不十分あるいは欠けた高齢者等に後見人の選任を申し立てるにあたり、市長が審判開始の申立人となる。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	老人福祉法第32条

2 事業費等

区分		28年度(決算)		29年度(決算)		30年度(決算)		元年度(予算)		H30/H29
事業費(千円)		0		67		604		4,986		901.5%
主な内訳	通信運搬費	0		24		3		69		12.5%
	手数料			43		4		248		9.3%
	成年後見制度利用扶助費等					334		3,360		-
人件費(人・千円)		0.08	372	0.08	388	0.06	376	0.09	477	75.0%
内訳	正職員	0.03	222	0.03	228	0.04	312	0.04	312	133.3%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0.05	150	0.05	160	0.02	64	0.05	165	40.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		372		455		980		5,463		215.4%
財源	国・府支出金			39		349		2,880		894.9%
	地方債									-
	その他()			15		139		1,146		926.7%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	372		401		492		1,437		122.7%
一般財源比率 C÷A		100.0%		88.1%		50.2%		26.3%		57.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	成年後見人が必要と思われる人の親族調査を委託。
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	市長による裁判所への審判開始の申立てを行う事業であり、委託できない。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度	29年度	30年度	目標値(H30)	元年度(予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	利用延人数	人	0	6	1	10	10
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況			<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由			申請に対して調査等行い、適切に対応できているため。					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	意思能力が不十分あるいは欠けた高齢者の身上監護を成年後見人等が行うことにより、本人を保護し、権利が守られるため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	成年後見についての相談は年々増加しており、本事業を着実に実施する必要があると考えるため。	
現在抱える課題と対策	課題	年々利用件数が増加すると思われる。
	対策	専門性の高い場合は介護保険課の保健師及び関係機関のアドバイスを得ることになっている。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	成年後見についての相談は年々増加しているため、本事業は必要である。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課		担当課長名	綿谷 憲司	
(※)第2期実施計画の事業名	高齢者安否確認事業		財務会計上の事業名	高齢者見守り事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2023	1	財務会計上の短縮番号	2340	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目3地域による支え合いの推進			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	民生委員・地区福祉委員による安否確認、その後の見守り活動への活動へつなげ、高齢者が安全・安心に暮らせる社会を目指す。
事業の対象 (誰を、何を)	70歳以上の高齢者
事業の手段・方法 (どのように)	民生委員・地区福祉委員に協力を依頼し安否確認をしていただく。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 22 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市高齢者安否確認に関する条例

2 事業費等

区分	28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29	
事業費(千円)	448		448		448		207		100.0%	
主な内訳	高齢者安否確認委託料	241	241	241	241	241	241	241	100.0%	
	補助金	197	197	197	197	197	197	197	100.0%	
	10	10	10	10	10	10	10	10	100.0%	
人件費(人・千円)	0.47	1,718	0.47	1,812	0.45	1,548	0.47	1,641	95.7%	
内訳	正職員	0.07	518	0.07	532	0.03	234	0.02	156	42.9%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	0	0	0	-	
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	0	0	0	-	
	任期付職員(短時間勤務)	0.40	1,200	0.40	1,280	0.40	1,280	0.45	1,485	100.0%
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	-	
	0	0	0	0	0.02	34	0	0	-	
支出合計 A	2,166		2,260		1,996		1,848		88.3%	
財源	国・府支出金								-	
	地方債								-	
	その他(みんなで作るまちの寄付金)	448	448	448	448	448	448	448	0.0%	
	うち受益者負担 B								-	
一般財源 C	1,718	1,812	1,996	1,848	1,996	1,848	1,996	110.2%		
一般財源比率 C÷A	79.3%		80.2%		100.0%		100.0%		124.7%	
受益者負担率 B÷A									-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し									
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	民生委員・地区福祉委員による安否確認を実施。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	安否確認依頼数	人	1250	1280	1520	1400	200
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	民生委員・地区福祉委員に協力を依頼し高齢者の安否確認をしていただけており、苦情も少なくなってきた。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	ここ数年は所在不明の高齢者の問題は確認されなくなると共に70歳以上の高齢者の社会進出もあり外出されているケースが多く平成31年度からは対象者を75歳以上とした。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	対象年齢を65歳から70歳に引上げた。(令和元年度からは75歳以上を対象とする)	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	前年と特に変更点はないが、民生委員・地区福祉委員さんのご意見を尊重しながら事業を展開していく。	
現在抱える課題と対策	課題	今後、独居高齢者・高齢者のみ世帯が占める割合が増えていくなかで、見守り体制の再構築が課題である。
	対策	見守りホットラインと併用しながら見守る体制が必要である。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	今後、独居高齢者・高齢者のみ世帯が占める割合が増えていくなかで、見守り体制の再構築が課題である。平成28年7月より緊急通報装置設置世帯については、月に1回程度、市職員が訪問し、安否確認を行う「池田市高齢者見守りサービス事業」を実施。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課		担当課長名	綿谷 憲司	
(※)第2期実施計画の事業名	街かどデイハウス支援事業		財務会計上の事業名	街かどデイハウス支援事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2023	2	財務会計上の短縮番号	2260	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目3地域による支え合いの推進			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	引きこもり防止による介護予防
事業の対象 (誰を、何を)	介護保険が非該当で、引きこもりがちな高齢者。
事業の手段・方法 (どのように)	コミュニティセンター等で、軽体操、創作活動などを実施。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 21 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市街かどデイハウス支援事業実施要綱

2 事業費等

区分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		1,240		1,240		1,240		1,240		100.0%
主な内訳	補助金	1,240		1,240		1,240		1,240		100.0%
										-
人件費(人・千円)		0.06	444	0.07	532	0.07	546	0.03	234	100.0%
内訳	正職員	0.06	444	0.07	532	0.07	546	0.03	234	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		1,684		1,772		1,786		1,474		100.8%
財源	国・府支出金	1,240		1,240		1,240		1,240		100.0%
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	444		532		546		234		102.6%
一般財源比率 C÷A		26.4%		30.0%		30.6%		15.9%		101.8%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	街かどデイハウスを実施しているNPO法人に対する支援事業でありアウトソーシングが前提であるため
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	通所者数	人	94	86	86	80	80
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	延利用者数	人	3,320	3,266	3,472	3,300	3,300
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	実施回数	回	158	156	156	158	158
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		地域の高齢者の引きこもり防止、交流の場として機能している。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	府の交付金にて実施している事業であり、現時点では有効・効率的である。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	府の交付金にて実施可能であるため。	
現在抱える課題と対策	課 題	府の交付金(地域福祉・高齢者福祉交付金)の見直しの検討が行われるため、今後の在り方が問われている。
	対 策	NPO法人から聞き取りを行いながら、府の「街かどデイハウス在り方検討会」で今後の在り方を検討中
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	府の「街かどデイハウス在り方検討会」で今後の在り方を検討中のため。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課		担当課長名	綿谷 憲司	
(※)第2期実施計画の事業名	見守りホットライン設置事業		財務会計上の事業名		
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2023	3	財務会計上の短縮番号		
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実			
	項目	項目3地域による支え合いの推進			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	地域ネットワークの構築による孤独死の防止により、高齢者が安全・安心に暮らせる社会を目指す。
事業の対象 (誰を、何を)	一人暮らしの高齢者、障がい者等生活基盤の弱い社会的に孤立していると思われる市民。
事業の手段・方法 (どのように)	市内事業者の協力を得て、電話通報を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 24 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	見守りホットライン設置事業要綱(H24.10.1)

2 事業費等

区 分		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)										-
主な内訳										-
										-
人件費(人・千円)		0.27	1,118	0.28	1,248	0.26	1,108	0.27	1,071	92.9%
内訳	正職員	0.07	518	0.08	608	0.06	468	0.04	312	75.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0.20	600	0.20	640	0.20	640	0.23	759	100.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		1,118		1,248		1,108		1,071		88.8%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	1,118		1,248		1,108		1,071		88.8%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	生活状況等個人のプライバシーに深くかかわる情報を扱うため、全ての事業を委託する上では緻密な検討が必要である。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28 年度	29 年度	30 年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	電話通報等延べ件数	人	16	18	13	30	30
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		通報件数は減少しているが、事業所や市民からの通報は増加している						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		コープや宅配牛乳店等、見守りホットラインの協定を締結している事業所数の増を目指す必要がある。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 25 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	担当職員を1名配置し、事業の充実を図った。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	市民への周知活動を強化するとともに課内での対処方法の共有化を図る。	
現在抱える課題と対策	課 題	高齢化社会が問題視される中、当該事業を行う上で、さらなるネットワークの構築が必要である。
	対 策	事業の趣旨に賛同してもらえ事業所の増加を目指す。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	今後も独居高齢者・高齢者のみ世帯が占める割合が増加すると思われるため、今後は高齢者安否確認事業との連携も検討する。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課	担当課長名	綿谷 憲司
(※)第2期実施計画の事業名		財務会計上の事業名	地域福祉推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号		財務会計上の短縮番号	2164
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実	
	項目	項目3地域による支え合いの推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	地域共生社会の実現
事業の対象 (誰を、何を)	市民、団体、事業所、相談支援機関
事業の手段・方法 (どのように)	住民が主体的に地域生活課題を把握し解決を試みることができる環境の整備及び包括的な相談支援体制の構築。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 29 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	社会福祉法第106条の3第1項、「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業実施要領

2 事業費等

区 分		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)				12,274		21,875		23,230		178.2%
主な内訳	委託料			11,000		21,875		23,180		198.9%
										-
人件費(人・千円)		0.00	0	0.23	1,748	0.23	1,504	0.16	959	100.0%
内訳	正職員		0	0.23	1,748	0.18	1,404	0.11	858	78.3%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0	0.01	32	0.01	33	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0	0.04	68	0.04	68	-
支出合計 A		0		14,022		23,379		24,189		166.7%
財源	国・府支出金			8,470		16,658		17,422		196.7%
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	0		5,552		6,721		6,767		121.1%
一般財源比率 C÷A				39.6%		28.7%		28.0%		72.6%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	池田市社会福祉協議会に委託し実施
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28 年度	29 年度	30 年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	相談支援包括化推進会議の開催	回		1	4	4	4
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	まちごと・丸ごとプロジェクト実施地域	地域		-	2	-	3
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				計画通り実施しているため。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				国のモデル事業であり、補助金を活用した事業であるため。また社協へ委託し、市と社協で連携し進めているため。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)		<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容			
令和元年度の取組(平成30年度比)		<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容		平成30年度も実施予定であるため。	
現在抱える課題と対策	課 題	地域住民に目的を理解してもらい、協力を得る必要がある点。	
	対 策	比較的实施しやすいと考えられる地域から順次着手し、他地域にも広げていく。	
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針			
取組方針		<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由		地域共生社会に実現に向けて、今後も継続していく必要があるため。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 高齢者政策推進室 地域支援課	担当課長名	山本 泰正
(※)第2期実施計画の事業名		財務会計上の事業名	地域自立生活支援事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号		財務会計上の短縮番号	8934
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第2節高齢者福祉・介護の充実	
	項目	項目3地域による支え合いの推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計(介護保険事業特別会計) <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	苦情に至る事態を未然に防止するため、介護サービス利用者の日常的な不安や疑問などを聞き、サービス提供事業所等に伝えることで改善の途を探ることを目指す。
事業の対象(誰を、何を)	介護サービス利用者
事業の手段・方法(どのように)	施設等を訪問し、サービス利用者の相談に応じ、事業者とのパイプ役となり問題解決に努める。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 13 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市介護相談員設置要綱

2 事業費等

区分		28年度(決算)		29年度(決算)		30年度(決算)		元年度(予算)		H30/H29
事業費(千円)		494		493		446		1,433		90.5%
主な内訳	報償費	470		448		407		993		90.8%
	負担金	0		38		33		292		86.8%
	保険料	8		7		6		10		85.7%
人件費(人・千円)		0.14	596	0.14	624	0.14	632	0.14	642	100.0%
内訳	正職員	0.04	296	0.04	304	0.04	312	0.04	312	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0.10	300	0.10	320	0.10	320	0.10	330	100.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		1,090		1,117		1,078		2,075		96.5%
財源	国・府支出金	289		288		257		828		89.2%
	地方債									-
	その他()	109		108		102		329		94.4%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	692		721		719		918		99.7%
一般財源比率 C÷A		63.5%		64.5%		66.7%		44.2%		103.3%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	相談員の定例会開催、活動報告などを取りまとめる業務。
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	事務局を外部委託する。(適切な委託先があれば可)。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値	元年度	
				(実績)	(実績)	(実績)	(H30)	(予定)	
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	相談員数	人	13	13	12	25	20	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	訪問件数	件	402	373	303	975	780	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				サービス利用者の不安や疑問等に応えることはできているが、相談員数や訪問件数は目標値に達していない。					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか			<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)			施設等は増加しているが、相談員数は増加していないため、一人当たりの負担が増加している。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	利用者と事業所のつなぎとして、改善効果はある。	
現在抱える課題とその対策	課 題	相談員一人当たりの負担が増加している。新規相談員を募集しても応募が少ない。
	対 策	募集方法の見直し。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	相談員がサービス提供事業所を訪問することにより、利用者や家族の不安等を聞き取り、事業所に伝えることで改善を図ることができる。また、市も報告により、事業所の様子を知ることができる。	